

令和2年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の名称

施設の名称	小平町やすらぎ滞在交流拠点施設	所管課名	経済課農林係					
所在地	小平町字小平町 469 番地の 3	設置年月日	平成 17 年 12 月 29 日					
施設設置目的	都市と農村の交流を図るため。							
主な施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊研修棟（客室、エントランスホール、食堂、厨房、炊事室、シャワー室、事務室等） 737.325 m<sup>2</sup></li> <li>・加工研修室棟（加工室、パン加工室、休憩室等） 194.4 m<sup>2</sup></li> <li>・渡廊下棟 21.6 m<sup>2</sup></li> <li>・バーベキュー施設 焼き台 4 台</li> <li>・物置小屋 1 棟（プレハブ）</li> <li>・駐車場（普通車 17 台）</li> </ul>							
指定管理者名	株式会社 STAY OBIRA							
選定方式	公募・ <del>非公募</del>	<b>【非公募の理由】</b> ① 当該施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないと認められるとき。（規則第 6 条第 1 項第 1 号） ② 公募に対し応募者がいないとき。（規則第 6 条第 1 項第 2 号） ③ 指定管理者の候補者に選定された団体をしてすることが不可能となり、又は著しく不相当と認められる事情が生じたとき。（規則第 6 条第 1 項第 3 号）						
	(特記事項)							
指定開始年度	令和 2 年度							
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで（5 年間）							
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持及び管理に関する業務</li> <li>・施設の使用の許可に関する業務</li> <li>・施設の使用料の徴収及び減免、返還に関する業務</li> </ul>							
利用料金の導入	あり（施設使用料）・なし							
施設の利用実績	利用区分等	利用実績（人）						
		29 年度	30 年度	元年度	2 年度			
	やすらぎ滞在交流拠点施設利用者数	1,271	1,262	1,446	1,152			
	宿泊	467	401	695	236			
	加工室	804	861	751	729			
	体験	—	—	—	10			
その他				177				
(特記事項)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度から令和元年度までは町直営</li> <li>・令和 2 年度から株式会社 STAYOBIRA が運営</li> </ul>								
指定管理料	令和 2 年度							
	8,200,000 円							
	(特記事項)							
指定管理者職員体制	合計	6 人	職員	5 人	臨時	1 人	パート	人
(その他特記事項)								

## 2 町（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているか町が点検・評価するものです。

### ■評価の基準

優 良：高いレベルで実施されており高く評価できる。

良 好：事業計画書どおりに適切に実施されており、問題は見られない。

普 通：事業計画書どおりに概ね適切に実施されているが、一部不適切な部分の確認されたが改善済みである。

不十分：不適切な部分の確認されたので、改善を要する。

大項目	中項目	評価項目	評価				評価に対する説明
			優 良	良 好	普 通	不 十 分	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況はどうか		○			
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか		○			
	適切な管理運営	町の方針、施設の設置目的等を理解した管理はされているか		○			
		町が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか		○			
		公共の仕事という倫理性や法令遵守を認識し対応しているか		○			
		町や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか		○			
	町民の平等利用	正当な理由なく一部の町民に利用制限や優遇が行われていないか		○			
		事業内容に偏りがなく、利用者が限られることはないか		○			
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか		○			
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○			
		労働関係法令を遵守した規定を整備し、職員の適正な労働条件を確保しているか		○			
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか				○	コロナウイルスの影響で研修会中止により今年度の研修を行っていない。また Web 会議に参加できる環境が整備されていない。
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正な事務処理となっているか		○			
		経理帳簿等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか		○			
		必要に応じパソコン等 I T 機器を活用できるか			○		Web 会議に対応できる機材をそろえる。
		施設や設備の保守点検は、必要な基準や仕様を満たしているか			○		TV 故障・窓ガラス破損などの不注事故があった。
		業務報告や事業報告が適切に作成されているか		○			
	安全管理	安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか		○			
		施錠、警備体制等は適切であるか		○			
		利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○			

	緊急時対応	事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか		○			
		避難経路の確保や避難時に支障をきたす障害物はないか		○			
	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか		○			
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか		○			
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか		○			
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか		○			
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか		○			
		年間の事業量が適切に実行されているか		○			
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	-	-	-	-	
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	-	-	-	-	
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか		○			
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか		○			
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか		○			
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか		○			
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか		○			
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか		○			
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか		○			
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか		○			
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か		○			
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか		○			
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結びついたか		○			
		収支のバランスはとれているか		○			
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか	-	-	-	-	
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し、収支の過小、過大はないか		○			

### 3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和2年8月1日～令和3年3月12日
	調査対象	学生、加工室利用者会議出席の各団体代表者、他
	調査方法	口頭
調査結果	<p>部活動での合宿、宿泊研修、加工室利用者、一般の宿泊者から口頭にて設備の不足や不備についてお聞きした。</p> <p>QR決済、フリーWi-Fi、加工室の備品についてご意見を頂いた。次年度は、アンケート用紙を作成しご記入頂くよう準備する。</p>	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済ができない。</li> <li>・フリーWi-Fiが直ぐに切れる。</li> <li>・パン加工室のストーブが温まり難いため、パンの発酵が遅れる。</li> <li>・ミトンが古く熱い。</li> <li>・大豆擦りの砥石が減っている。</li> <li>・大豆の絞り袋の目が大きくなってきており、おからが出る。</li> </ul>	

### 4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	<p>コロナ禍での休業要請や宿泊客の減少で、宿泊料が前年比△58%と大きく落としたが、加工室収入については、前年と変わらない収入となった。オリンピックの開催も不透明であり、インバウンドも見込めないと予想される今は、コロナ終息後を見据えての準備期間と位置付けることとし、webサイトの充実、体験プログラムの磨き上げを重点的に行い集客力を向上させた他、食品衛生責任者資格、飲食店営業許可を取得し、集客につなげることが出来た。また、旅行会社と契約し、来年度の大規模教育旅行やATWSの受け入れ準備も進んでいる他、都市部OTAにも登録が完了した。経費削減として、役員が夜警や備品制作を行った。設備管理として、客室TVの故障の指摘や落雪による窓ガラスの破損を防ぐことが出来ず、反省すべき点である。キャッシュレス対応は、PeyPey・Alipay・Kakaopayを導入し、支払の幅を広げ集客に繋げた。経理は商工会員となり、不慣れな経理作業について助力を得ることが出来たし、会計システムを導入することが出来た。</p>
今後の目標	<p>コロナ終息が見えないことから、インバウンド収入は見込めない上、教育旅行等の団体利用についても以前の利用数まで回復しないと考える。コロナ拡大に左右され難い加工室利用についても、長期的にみると年々減少しているが、これは主な利用者である町内客の高齢化による所が大きいため、今後の増収は難しく思える。このように周囲を取り巻く状況は厳しいものであるが、その中で収益増を目指すには、国内客それも近郊近隣地域からのコンパクトな旅行先として誘客をし、宿泊及び農泊体験数をあげることを考える。これらの事から、弊社の第一目標は、インバウンドから国内客へ舵を切り直し、旅行会社及び体験受入先と協力し、宿泊と農泊体験のセット商品を開発し、旅行会社に販売頂き、他一般団体と合わせ宿泊料100万円、体験料6万円以上の売上を目標としたい。第二に、無駄な経費の削減とし、窓ガラス破損などの不注意事故を無くす。</p>

5 町（所管課）による総合評価

<p>指定管理者として Web サイトの充実や体験プログラムの磨き上げを行うなど、小平町ならではの地域資源を活かした取り組みを発信するなど利用者の確保に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により宿泊者の大幅に減少により厳しい状況での営業であった。このような中で、集客向上のための取り組みや、経費削減に努めているが、北海道や町からの補てんがなければ赤字が見込まれる状況である。</p> <p>コロナ禍により先が不透明な状況であるが、感染対策を行いながら集客アップの試みや、利用者が安心して施設を利用できるよう工夫して取り組んでいただきたい。</p>	総合評価結果			
	優良	良好	普通	不十分
		○		